

# 平成 27 年度 事業報告書

## 1. 助成事業

平成 27 年度の助成事業は、研究費助成、海外渡航費助成および学術研究資金助成の公募を行い、総額 1,360 万円を実施しました。平成 27 年度公募の概況は、以下の通りです。

### (1) 学術研究費助成事業

#### ①研究費助成事業

岡山県内の研究機関に所属する研究者に対する研究費の助成を目的とした研究費助成事業は、平成 27 年 3 月 1 日から 4 月 15 日まで、大学等の研究機関を通じて一般公募を行いました。

その結果、60 件の応募があり、選考委員会において、以下の 38 件の研究に対して助成を行うことを決定し、1,080 万円の助成を実施しました。

- 新規破骨細胞制御因子 DCL-1/CD302 の機能解明および CCN2 による制御機構の解明  
岡山大学 大学院 医歯薬学総合研究科 助教 青山 絵理子 300 千円
- メカニカルストレスを利用した心筋細胞のストレス応答能獲得のしくみ  
岡山大学 大学院 医歯薬学総合研究科 助教 片野坂 友紀 300 千円
- B 型肝炎ウイルス (HBV) の感染増殖を制御する分子機構の解明  
岡山大学 大学院 医歯薬学総合研究科 助教 團迫 浩方 350 千円
- 限られた帯域で複数動画を同時配信できるインターネット放送システムの構築  
岡山大学 大学院 自然科学研究科 准教授 後藤 佑介 300 千円
- 交流大電流通電を可能とする単相高温超電導変圧器を用いた小型・軽量電源の開発  
岡山大学 大学院 自然科学研究科 准教授 七戸 希 300 千円
- 脱水素ケイ素化およびリン化反応を利用した新規求核分子触媒の創製  
岡山大学 大学院 自然科学研究科 助教 村井 征史 350 千円
- 江戸期の巨石樋門・倉水門の撤去に関わる 3D レーザースキャナによる記録保存および文献調査  
岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 准教授 樋口 輝久 400 千円
- 河川堤防の安全な維持管理のための総合的照査方法の確立  
岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 助教 金 兼洙 400 千円
- 植物バイオマスからの骨成分合成  
岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 准教授 永禮 英明 400 千円
- トンネル覆工・空隙・地山の相互作用とロックボルトの効果  
岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 講師 柴田 俊文 400 千円
- 旭川感潮域のケレップ水制域における塩水流動の現地観測および数値解析  
岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 助教 赤徳 良輔 400 千円
- 難培養性乳酸菌を用いた乳牛用プロバイオティクス飼料の開発  
岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 准教授 西野 直樹 400 千円
- テンナンショウ属を用いた植物の性転換機構の解明  
岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 助教 宮崎 祐子 350 千円
- 腫瘍抗原糖鎖をカップリングさせた機能性糖鎖ポリマーの抗腫瘍抗体産生への応用  
岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 教授 木村 吉伸 300 千円
- 植物の生殖細胞における DNA メチル化動態に関する研究  
岡山大学 資源植物科学研究所 助教 池田 陽子 350 千円
- オオムギ発芽時耐塩性 QTL の同質遺伝子系統作出と生活環横断的な塩ストレス応答機構の解明  
岡山大学 資源植物科学研究所 助教 最相 大輔 300 千円

- 17 繰り返されるCSRを巡る問題を発端として一競争戦略を公正概念の視点から考察  
岡山大学 大学院 社会文化科学研究科 教授 北 真収 200 千円
- 18 「食品素材や化粧品素材」としての「高機能化ポリフェノール誘導体」の環境に優しい「次世代型酵素的合成システム」の開発  
岡山県立大学 保健福祉学部 准教授 中島 伸佳 120 千円
- 19 人体近傍生気象現象の把握と温熱環境評価モデルの構築  
岡山県立大学 情報工学部 助教 島崎 康弘 200 千円
- 20 超音波ニードルパンチ処理を施したCF/PA6 複合材料の衝撃特性の評価  
岡山県立大学 情報工学部 助教 小武内 清貴 200 千円
- 21 ステートマシン図を用いたWeb アプリケーションの自動テスト環境の開発  
岡山県立大学 情報工学部 助教 横川 智教 200 千円
- 22 実感を伴う水害用デジタル避難ガイドの開発  
岡山県立大学 デザイン学部 講師 齋藤 美絵子 100 千円
- 23 わが国との比較的視点で捉える台湾における歴史的町並み（老街）保存事業の分析研究  
岡山県立大学 デザイン学部 准教授 西川 博美 150 千円
- 24 建築家ジェフリー・バワの建築言語に関する研究  
岡山県立大学 デザイン学部 教授 岩本 弘光 90 千円
- 25 現代作家の陶磁器デザインと技法の集積  
岡山県立大学 デザイン学部 教授 久保田 厚子 140 千円
- 26 微量の水を用いた高分子/疎水性イオン液体の相挙動の制御と機構解明  
岡山理科大学 理学部 講師 大坂 昇 300 千円
- 27 高効率な発光を目指した有機蛍光材料の開発  
岡山理科大学 理学部 講師 岩永 哲夫 200 千円
- 28 簡易なUAVを用いた斜面形状取得と斜面変状評価手法の開発  
岡山理科大学 生物地球学部 准教授 佐藤 丈晴 600 千円
- 29 未利用バイオマス細胞壁分解における放線菌フェルラ酸エステラーゼの有用性評価  
岡山県農林水産総合センター 生物科学研究所  
流動研究員 裏地 美杉 200 千円
- 30 青枯病菌エフェクターの宿主植物因子による活性化機構の解明  
岡山県農林水産総合センター 生物科学研究所  
流動研究員 向原 隆文 200 千円
- 31 死細胞から放出される組織リモデリング増悪化因子の分子機能ろ病態制御  
就実大学 薬学部 教授 森 秀治 320 千円
- 32 小児精神疾患治療を指向した経鼻薬物送達法の可能性を探る薬物動態学的研究  
就実大学 薬学部 准教授 井上 大輔 320 千円
- 33 鳥類アデノ随伴ウイルス(AAAV)ベクターの開発  
就実大学 薬学部 准教授 工藤 季之 320 千円
- 34 高脂肪食摂取による肥満の形成はGas6 阻害により抑制できるか？  
倉敷芸術科学大学 生命科学部 講師 椎葉 大輔 300 千円
- 35 色素増感太陽電池を指向した含ケイ素化合物の合成  
倉敷芸術科学大学 生命科学部 教授 仲 章伸 200 千円
- 36 効力に「はずれ」が生じない新規インフルエンザワクチン製造株の開発  
川崎医科大学 微生物学教室 助教 内藤 忠相 350 千円
- 37 HTLV-1 由来のHBZ 蛋白を標的とした新規HTLV-1 関連疾患の発症予防・治療法に関する研究  
川崎医科大学 微生物学教室 助教 塩浜 康雄 200 千円
- 38 非同期式直列演算器に基づいた超低消費電力デジタル補聴器の開発  
川崎医療福祉大学 講師 近藤 真史 290 千円

## ②海外渡航費助成事業

岡山県内の研究機関に所属する研究者に対する海外渡航費の助成を目的とした海外渡航費助成事業は、平成 27 年 3 月 1 日から 4 月 15 日まで、大学等の研究機関を通じて一般公募を行いました。

その結果、9 件の応募があり、選考委員会において、以下の 6 件の研究に対して助成を行うことを決定し、100 万円の助成を実施しました。

- |   |  |        |
|---|--|--------|
| 1 | 国際会議に参加、発表（制御システムの研究）<br>岡山大学 工学部 助教 矢納 陽                                    | 150 千円 |
| 2 | 国際水理学会に参加、発表（開水路に置かれた自然石に作用する流体力の数値計算に関する研究）<br>岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 准教授 吉田 圭介 | 200 千円 |
| 3 | 国際会議に参加、発表（1.95A 分解能での光化学系 II 複合体の無損傷結晶構造）<br>岡山大学 理学部 助教 菅 倫寛               | 200 千円 |
| 4 | 国際会議に参加、発表（植物共生細菌による気孔開口物質の作用機序と意義）<br>岡山大学 資源植物科学研究所 准教授 谷 明生               | 150 千円 |
| 5 | 国際学会に参加、発表（疫学研究におけるカメラ付き携帯電話による食事目安記録法の妥当性についての検討）<br>岡山理科大学 理学部 教授 汪 達紘     | 180 千円 |
| 6 | 日米韓機械学会に参加、発表（MRI を用いた流体機械内部の流れの可視化）<br>津山工業高等専門学校 電子制御工学科 准教授 細谷 和範         | 120 千円 |

## （2）学術研究資金助成事業

岡山県内の研究機関に所属する私費留学の外国人研究者及び研究生に対する研究資金の助成を目的とした学術研究資金助成事業は、平成 27 年 4 月 1 日から 5 月 15 日まで、大学等の研究機関を通じて一般公募を行いました。

その結果、5 名の応募があり、選考委員会において、以下の 3 名の私費留学生に対して、総額 180 万円の助成を実施しました。

- |   |  |        |
|---|--|--------|
| 1 | 鳥取-岡山の降水から見る中国からの越境汚染<br>岡山大学 大学院 自然科学研究科 モウ ケイセイ（中国）                                  | 600 千円 |
| 2 | CSMA/CA 方式を用いて無線 LAN における不正検出のための端末動作佳定に関する研究<br>岡山県立大学 大学院 イ ソンヨン（韓国）                 | 600 千円 |
| 3 | ガーターバネを用いた Metal-on-Metal 人工股関節の実用化に関する研究－複数バネによる衝撃緩和性能の向上－<br>岡山理科大学 大学院 チョウ シンメイ（中国） | 600 千円 |

## 2. 研究者交流事業

定款第 4 条第 1 項第 6 号に掲げる事業は、次のとおり総額 790 千円を実施しました。

### （1）交流会事業

この事業は、助成を受ける研究者及び研究生とその関係者の交流並びに情報交換を目的に、ANA クラウンプラザホテル岡山にて立食パーティー形式の交流会を開催しました。

終始なごやかな雰囲気での交流がなされ、事業費としては、727 千円を支出しました。

## (2) 研究発表会事業

この事業は、助成を受ける研究活動における最先端技術の開発状況を研究者が自ら発表することにより、研究成果の普及を促し、各分野における技術開発の推進及び発展に寄与することを目的に行うものです。平成27年度は、平成28年1月26日にANAクラウンプラザホテル岡山で開催しました。当日は71名が受講し、熱心にメモをとる姿や様々な質問がなされ、最先端技術への関心の深さが伺えました。

なお、研究発表者は以下の5名で、事業費としては、63千円を支出しました。

- 1 (平成26年度学術研究費助成)  
「地質統計学と論理モデルに基づいた地質モデリングに関する研究」  
岡山大学 大学院 環境生命科学研究科 助教 珠玖 隆行
- 2 (平成26年度学術研究費助成)  
「小中学生の学力向上に貢献する運動・スポーツの条件に関する研究  
～持続的スポーツ競技と学習の集中力の関連性の検証～」  
岡山県立大学 情報工学部 准教授 綾部 誠也
- 3 (平成26年度学術研究費助成)  
「情景画像と大規模点群の対応付けによる拡張現実指向GISの開発」  
岡山理科大学 工学部 教授 島田 英之
- 4 (平成26年度学術研究費助成)  
「糖尿病性腎症モデルマウスを用いたSfrp1の病態的意義の解明」  
重井医学研究所 分子遺伝部門 室長 松山 誠
- 5 (平成26年度学術研究費助成)  
「3Dレーザー測量を利用した斜面崩壊危険個所抽出法の開発」  
岡山大学 理学部 教授 鈴木 茂之

## (3) 事業報告書の作成

平成27年度の事業状況及び学術研究費助成の研究成果報告書をまとめた事業報告書150部を作成しました。

### 3. 処務の概要

#### (1) 役員に関する事項

##### 理 事

(平成28年3月31日現在)

役職名	氏 名	常勤非常勤 の別	手当	現職名	備考
理事長	山地 弘	非常勤	無	(株)ウエスコホールディングス 代表取締役社長	
理 事	千葉 喬三	非常勤	無	就実学園 理事長	
理 事	波田 善夫	非常勤	無	岡山理科大学 学長	
理 事	大崎 紘一	非常勤	無	岡山商科大学 副学長	
理 事	沖 陽子	非常勤	無	岡山大学 大学院 環境生命学研究科 教授	
常務理事	大倉 一夫	非常勤	無	株式会社ウエスコ 取締役四国支社長	

##### 監 事

(平成28年3月31日現在)

役職名	氏 名	常勤非常勤 の別	手当	現職名	備考
監 事	福原 一義	非常勤	無	福原一義公認会計士 事務所 公認会計士	
監 事	普門 仁利	非常勤	無	(株)ウエスコホールディングス 経営管理本部経理部長	

##### 評 議 員

(平成28年3月31日現在)

役職名	氏 名	常勤非常勤 の別	手当	現職名	備考
評議員長	松原 利直	非常勤	無	株式会社ウエスコ 代表取締役社長	
評議員	藤原 健史	非常勤	無	岡山大学 大学院 環境学研究科 教授	
評議員	富田 栄二	非常勤	無	岡山大学 大学院 自然科学研究科 教授	
評議員	辻 英明	非常勤	無	岡山県立大学 学長	
評議員	泉 史博	非常勤	無	株式会社中国銀行 取締役会長	
評議員	倉本 英雄	非常勤	無	(株)ウエスコホールディングス 監査役	

#### (2) 職員に関する事項

(平成28年3月31日現在)

職 名	氏 名	常勤非常勤 の別	手当	担当事務	現職名	備考
職 員	永山 彰	非常勤	無	総務全般	(株)ウエスコ 社員	
職 員	山本 祐	非常勤	無	総務全般	(株)ウエスコ 社員	

### (3) 役員会等に関する事項

#### ①理事会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 27 年 6 月 23 日	・平成 26 年度事業報告及び付属明細書の承認の件	承認可決された
	・平成 26 年度貸借対照表及び損益計算書並びにこれらの付属明細書の承認の件	承認可決された
平成 27 年 10 月 21 日	・選考委員 8 名選任の件	承認可決された
	・平成 27 年度助成者決定の報告の件	事務局より報告した
	・銀行借入額決定の件	事務局より報告した
平成 28 年 1 月 26 日	・理事長及び常務理事選任の件	承認可決された
平成 28 年 3 月 18 日	・株式会社ウエスコホールディングス定時株主総会における議決権行使の件	承認可決された
	・事業内容の追加・変更について	承認可決された
	・公益認定の変更認定申請について	承認可決された
	・平成 28 年度事業計画承認の件	承認可決された
	・平成 28 年度収支予算承認の件	承認可決された
平成 28 年 3 月 18 日	・銀行借入の件	承認可決された
	・平成 28 年度収支予算書の変更について	承認可決された

#### ②評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会議の結果
平成 27 年 6 月 23 日	・理事 6 名選任の件	承認可決された
	・平成 26 年度事業報告及び付属明細書報告の件	事務局より報告した
	・平成 26 年度貸借対照表及び損益計算書並びにこれらの付属明細書報告の件	事務局より報告した
	・平成 27 年度助成者決定の報告の件	事務局より報告した
	・銀行借入額決定の件	事務局より報告した
平成 27 年 7 月 16 日	・平成 26 年度事業報告・貸借対照表及び損益計算書並びにこれらの付属明細書の承認の件	承認可決された
平成 27 年 1 月 26 日	・事業内容の追加・変更について	承認可決された
	・公益認定の変更認定申請について	承認可決された
	・定款の一部変更について	承認可決された
	・平成 28 年度事業計画承認の件	承認可決された
	・平成 28 年度収支予算承認の件	承認可決された
	・銀行借入の件	承認可決された

### (4) 主務官庁等の許可、認可及び承認に関する事項

該当なし

### (5) 寄付金に関する事項

該当なし

**(6) 契約に関する事項**

該当なし

**(7) 主務官庁の指示に関する事項**

該当なし

**(8) 税法上の収益事業の有無**

該当なし

**(9) その他の注意事項**

該当なし

**4. 事業報告書の付属明細書**

平成 28 年 3 月期における重要事項は無く、期末における事業報告書の付属明細書に記載すべき事項はありません。

# 貸借対照表

平成28年 3月 31日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度 (H28/3/31)	前 年 度 (H27/3/31)	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,252,773	4,390,524	862,249
未収金	0	0	0
流動資産合計	5,252,773	4,390,524	862,249
2. 固定資産			
基本財産			
投資有価証券	538,219,000	724,598,500	△ 186,379,500
定期預金	20,000,000	20,000,000	0
基本財産合計	558,219,000	744,598,500	△ 186,379,500
固定資産合計	558,219,000	744,598,500	△ 186,379,500
資産合計	563,471,773	748,989,024	△ 185,517,251
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0	0	0
流動負債合計	0	0	0
負債合計	0	0	0
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
受贈投資有価証券	508,000,000	694,000,000	△ 186,000,000
投資有価証券	30,219,000	30,598,500	△ 379,500
受贈定期預金	20,000,000	20,000,000	0
指定正味財産合計	558,219,000	744,598,500	△ 186,379,500
2. 一般正味財産	5,252,773	4,390,524	862,249
(うち基本財産への充当額)	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	0	0	0
正味財産合計	563,471,773	748,989,024	△ 185,517,251
負債及び正味財産合計	563,471,773	748,989,024	△ 185,517,251

## 正味財産増減計算書

平成27年4月1日 から平成28年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度 (H27.4.1-H28.3.31)	昨年度 (H26.4.1-H27.3.31)	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産有価証券受取利息	522,000	522,000	0
基本財産受取利息	9,763	6,186	3,577
基本財産受取配当金	16,000,000	14,000,000	2,000,000
基本財産運用益計	16,531,763	14,528,186	2,003,577
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	0	0	0
特定資産運用益計	0	0	0
受取寄付金	0	50,000	△ 50,000
受取寄付金計	0	50,000	△ 50,000
④ 雑収益			
海外渡航事業費返金	0	0	0
受取利息	1,046	1,070	△ 24
雑収益	0	0	0
雑収益計	1,046	1,070	△ 24
経常収益計	16,532,809	14,579,256	1,953,553
(2) 経常費用			
① 事業費			
支払助成金	13,600,000	16,400,000	△ 2,800,000
印刷費	509,760	51,408	458,352
旅費交通費	500	0	500
会議費	790,468	682,219	108,249
通信費	41,403	38,532	2,871
消耗品費	3,209	39,133	△ 35,924
事務委託費	392,000	0	392,000
家賃	88,000	0	88,000
事業費計	15,425,340	17,211,292	△ 1,785,952
② 管理費			
会議費	69,800	74,562	△ 4,762
旅費交通費	0	0	0
通信費	16,298	14,598	1,700
租税公課	480	0	480
印刷費	0	0	0
事務手数料	18,423	2,330	16,093
支払利息	20,219	17,113	3,106
消耗品費	0	25,952	△ 25,952
雑費	0	0	0
事務委託費	98,000	600,000	△ 502,000
家賃	22,000	0	22,000
管理費計	245,220	734,555	△ 489,335
経常費用計	15,670,560	17,945,847	△ 2,275,287
当期経常増減額	862,249	△ 3,366,591	4,228,840
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0		0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	862,249	△ 3,366,591	4,228,840
当期一般正味財産増減額	862,249	△ 3,366,591	4,228,840
一般正味財産期首残高	4,390,524	7,757,115	△ 3,366,591
一般正味財産期末残高	5,252,773	4,390,524	862,249
II 指定正味財産増減の部			
基本財産評価益	0	292,000,000	△ 292,000,000
基本財産評価損	186,379,500	68,400	186,311,100
当期指定正味財産増減額	△ 186,379,500	291,931,600	△ 478,311,100
指定正味財産期首残高	744,598,500	452,666,900	291,931,600
指定正味財産期末残高	558,219,000	744,598,500	△ 186,379,500
III 正味財産期末残高	563,471,773	748,989,024	△ 185,517,251

# 正味財産増減計算書内訳表

平成27年4月1日 から平成28年3月31日まで

(単位：円)

科 目	平成27年度 (H27.4.1-H28.3.31)			
	公益目的事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産有価証券受取利息	522,000			522,000
基本財産受取利息	9,763			9,763
基本財産受取配当金	15,200,000	800,000		16,000,000
基本財産運用益計	15,731,763	800,000		16,531,763
② 特定資産運用益				0
特定資産受取利息	0			0
特定資産運用益計	0			0
受取寄付金	0			0
受取寄付金計	0	0		0
④ 雑収益				0
海外渡航事業費返金				0
受取利息	1,046			1,046
雑収益				0
雑収益計	1,046	0		1,046
経常収益計	15,732,809	800,000		16,532,809
(2) 経常費用				0
① 事業費				0
支払助成金	13,600,000			13,600,000
印刷費	509,760			509,760
旅費交通費	500			500
会議費	790,468			790,468
通信費	41,403			41,403
消耗品費	3,209			3,209
事務委託費	392,000			
家賃	88,000			
会場費	0			0
事業費計	15,425,340	0		15,425,340
② 管理費				0
印刷費		0		0
旅費交通費		0		0
会議費		69,800		69,800
通信費		16,298		16,298
事務手数料		18,423		18,423
消耗品費		0		0
租税公課		480		480
支払利息		20,219		20,219
事務委託費		98,000		98,000
家賃		22,000		22,000
雑費		0		0
管理費計	0	245,220		245,220
経常費用計	15,425,340	245,220		15,670,560
当期経常増減額	307,469	554,780		862,249
2. 経常外増減の部				0
(1) 経常外収益				0
経常外収益計	0	0		0
(2) 経常外費用	0	0		0
経常外費用計	0	0		0
当期経常外増減額	0	0		0
税引前当期一般正味財産増減額	307,469	554,780		862,249
当期一般正味財産増減額	307,469	554,780		862,249
一般正味財産期首残高	4,583,337	△ 192,813		4,390,524
一般正味財産期末残高	4,890,806	361,967		5,252,773
II 指定正味財産増減の部				0
基本財産評価益	0	0		0
基本財産評価損	177,079,500	9,300,000		186,379,500
当期指定正味財産増減額	△ 177,079,500	△ 9,300,000		△ 186,379,500
指定正味財産期首残高	707,368,575	37,229,925		744,598,500
指定正味財産期末残高	530,289,075	27,929,925		558,219,000
III 正味財産期末残高	535,179,881	28,291,892		563,471,773

# 財務諸表に対する注記

平成 27年4月1日 から平成28年3月31日 まで

1. 継続事業の前提に関する注記

該当はありません。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券並びに子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券は、期末日の市場価格等に基づく時価法によります。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式を採用しています。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりです。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	20,000,000	20,000,000	20,000,000	20,000,000
投資有価証券	724,598,500	0	186,379,500	538,219,000
小計	744,598,500	20,000,000	206,379,500	558,219,000
特定資産	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
合計	744,598,500	20,000,000	206,379,500	558,219,000

(注) 投資有価証券の当期増減額は、前事業年度末における帳簿価額と時価の差額(評価損益)を表示しております。

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりです。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	20,000,000	20,000,000	0	0
投資有価証券	538,219,100	538,219,100	0	0
小計	558,219,100	558,219,100	0	0
特定資産	0	0	0	0
小計	0	0	0	0
合計	558,219,100	558,219,100	0	0

5. 担保に供している資産

該当はありません。

6. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務

該当はありません。

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当はありません。

8. 重要な後発事象

該当はありません。

9. 関連当事者との取引の内容

該当はありません。

10. その他

該当はありません。

# 財産目録

平成28年 3月 31日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
<b>1. 流動資産</b>				
<b>現金預金</b>				
	普通預金	山陰合同銀行/岡山支店	運転資金として	77,628
	普通預金	中国銀行/奉還町支店	"	5,175,145
	現金預金合計			5,252,773
<b>その他流動資産</b>		<b>その他流動資産合計</b>		0
<b>流動資産合計</b>				5,252,773
<b>2. 固定資産</b>				
<b>基本財産</b>				
	投資有価証券	ソフトバンク株式会社社債	公益目的保有財産であり、運用益を助成事業の財源として使用している	30,219,000
	定期預金	中国銀行/奉還町支店	"	20,000,000
	投資有価証券	株式会社ウエスコホールディングス株式2,000千株 内、618千株について貸株契約を締結している	公益目的保有財産であり、運用益の95%を研究助成事業等の財源として使用し、残り5%は管理費等の財源として使用している。 当該株式は、貸借銘柄であり日本証券金融株式会社との間に貸株契約を締結している。	508,000,000
	基本財産合計			558,219,000
<b>固定資産合計</b>				558,219,000
<b>資産合計</b>				563,471,773
<b>1. 流動負債</b>				
				0
<b>流動負債合計</b>				0
<b>負債合計</b>				0
<b>正味財産</b>				563,471,773